

## 地域ぐるみで取組む

### 「ごみを捨てさせない」環境づくり

荘野協働のまちづくりネットワークでは、これまで公民館や荘野地区社会福祉協議会を中心に進めてきた「ごみ拾い」を中心とした地域ぐるみの環境美化活動に加え、「ごみを捨てさせない」環境づくりに積極的に取り組んでいます。

9月11日、荘野地区で一斉美化活動が行われ、朝早くから約200人が、ごみ拾いや、落書き消しに参加しました。

「以前に比べ、ごみの量がずいぶん減りました。」  
 荘野地区社会福祉協議会会長の上垣和義さんは、平成6年から荘野公民館をはじめ各種団体と連携し、毎年続けているこの活動を通して、地域の力を感じています。

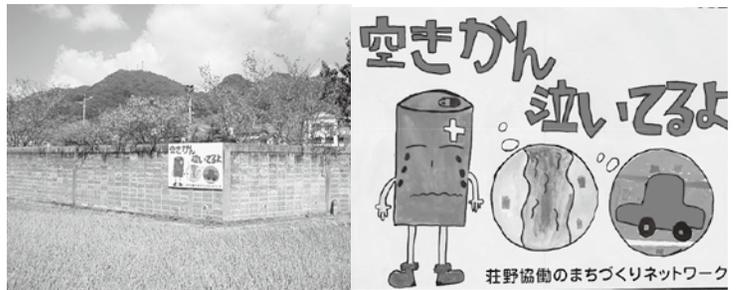
荘野地区ではこのほか、年に4回、空き缶拾いを行う自治会もあり、地域ぐるみで町の美化に取り組んでいます。

しかし、年々ごみの量が減っているとはいえ、国道2号沿いの歩道や、交差点、空き地には、空き缶やたばこのポイ捨てが多いことが地域の課題です。

「ごみ拾いに汗を流し、ごみがない美しいまちづくりに取り組んでいる人がいる一方で、簡単にポイ捨てをしてしまう人がいる。その現状をなんとかできないか。」

昨年からは、荘野協働のまちづくりネットワークの環境部会が、「ごみを捨てさせない」活動に取り組み始めました。

まずは、地域で環境を守る



▲荘野小学校前のブロック塀に設置した環境啓発看板。図案は、協働のまち賞を受賞した荘野小6年・才野瀬可奈さんの作品

ことに対する意識を高めようと、環境ポスターを募集。64点の作品から選ばれた12点の入賞作品で看板を作成し、ポイ捨ての多い箇所に設置しました。環境部会長の岡東節明さんは、「ごみを捨てない・捨てさせない活動で、地域の環境を守っていきたい。そして、荘野地区から広くメッセージを発信していけたらと思っています。次は、ポイ捨て禁止をテーマに、芝居を企画しています。」

今後の展開が楽しみです。

## 走る楽しさ 夢をもつ素晴らしさを学ぶ



9月13日、仁賀小学校でふるさと納税を活用した「竹原っこ夢プロジェクト」が行われました。

児童の「マラソン選手になりたい。」「走ることが好きになりたい。」「という夢をかなえるために、デオデオ女子陸上部の監督や選手による講演会とリレー競争を開催。

講演会では、中田一吉監督、山田貴子コーチ、久保瑠里子選手が、実体験をもとに、夢を実現するために大切なこ

と、夢や目標をもつ素晴らしさを語ってくれました。

講演会の後はいよいよリレー競争。選手からストレッツ法や足を高く上げる方法を教えてもらい、児童がリレーに挑みました。

走ることが苦手な児童も、選手から速く走るコツを教えてもらいながら、楽しく走りました。

活動後に、児童が女子陸上部のみなさんへ書いたお礼の手紙には、「学んだことを将来に生かしたい。」という思いがこもっていました。

「運動が大好きなので、もっと足が速くなりたい。コーチや監督にいろいろなことを教えてもらったので、身につけたい。」(5年 元岡真紀さん)

「中学校の時、友達はず自転車で帰っていたけど、自分はず歩いて帰っていた」という話を聞いて、すごいと思った。自分もそんなふうになんばって夢を叶えたい。」(5年 向京香さん)

プロとして頑張る選手たちから、夢を叶えるために一生懸命になることを学んだ一日となったようです。

## 学校給食センターが稼働

9月1日、学校給食センターが稼働し、市内11校の小中学校への給食がスタートしました。竹原中学校では、小学校以来の配膳に戸惑う生徒も見られましたが、協力し合って給食を準備。配膳後は温かい給食をしっかりと食べていました。



## 今、自転車が熱い！

9月12日、竹原自動車学校で、もみじサイクルロードレース大会が開催されました。自転車競技の人気の高まっていることもあり、当日は市内外から中高生約50人など、多くのサイクリストが集まって、競い合いました。



## 児童生徒 星の王子様の世界へ

9月12日、賀茂川中学校で、文化庁が行う子どものための優れた舞台芸術体験事業として、星の王子様のミュージカルが開催されました。当日は近隣の小学校も参加。児童生徒が出演者と共に歌い、感動的な場面を盛り上げました。



## みんなで運動する楽しさを

9月19日、バンブー体育館でふれあい運動会が開催され、障害のある人が玉入れやパン食い競争などの競技に参加し、共に運動を楽しみました。家族や友達など、周囲の声援を受けて、笑顔で競技に参加するみなさんが印象的でした。



## 竹原っこが全国で活躍！

8月30日、市役所で、「第28回全国小中学生箏曲コンクール」金賞に輝いた忠海西小学校6年の山本夏子さんと「第58回全日本学生剣道選手権大会」で見事優勝した鹿屋体育大学4年の木谷洋亮さんが、市長を表敬訪問しました。

山本さんは、「周りの人の支えがあってここまでこれました。中学生になっても続けたいです。」と話しました。また、木谷さんは、「決勝では試合の雰囲気を楽しむことができました。優勝は周囲の支えのおかげです。」と報告。

2人は教育長から表彰も受けました。今後のさらなる活躍が楽しみです。



## いざというときに備える

9月4日、バンブー公園で総合防災訓練が行われ、市民517人が、応急手当や消火器の使い方、土のうの作り方などを学びました。特に公共施設等への設置が増えているAEDを使用する救命訓練では、いざという時に人命が救助できるよう、積極的に使用方法について質問をする参加者の姿が印象的でした。

また、当日は竹原飲食組合が設置する災害支援型自動販売機に描かれるキャラクターの発表もありました。採用されたのは、忠海高校1年の大本愛さんがデザインした「助ケロ」。今後、自動販売機から災害支援を呼びかけます。